オフィス

デスク周り

緑を感じながら落ち着いてデスクワーク

デスク周りにグリーンがあると、リラックスしながら仕事ができます。パソコン作業による目の疲れも和らげてくれます。

人工樹木をデスクの両端や四隅に置くと効果的。

人工樹木は自然の癒しを演出する定番アイテムです。デスクの両端や四隅に設置すると、手軽に緑に囲まれた空間を作ることができます。高さやボリュームある樹木を置くとより効果的です。(❶ 連接樹木/寄せ植えプランター GR5033)

デスクの真ん中にグリーンポットを置くのもおすすめです。手元のグリーンが視界に入りやすく癒されます。スリム形状のポットなら、パソコンや書類を置くスペースを確保しながら、グリーンが自然と視界に入ります。(❷ グリーンポット/デザインポット GR4041)

緑に囲まれた、居心地のいいオフィス環境が作れます

グリーンが散りばめられたオフィス空間は、リラックスしながら気持ちよく仕事ができます。従業員のモチベーションを高め、生産性の向上も期待できます。居心地のいいグリーン空間を作るには、空きスペースを埋める要領でバランスよく配置することがポイントです。フェイクグリーンはデザインの幅が広く、スタイルの違うアイテムを取り入れることで、センスのいい空間が作れます。

柱周り

装飾スペースとして利用し、緑視率を高める

自由度の高いオープンな空間では、建築躯体である柱の存在感が増して、邪魔に感じることがあります。

ワンポイントのパネル装飾でも目に入りやすい。

目立つ柱を隠すのではなく、装飾場所として生かすと手軽にグリーンのある空間が作れます。ワンポイントにグリーンのパネルを飾るだけで目に入りやすく、アクセントとして空間を素敵に演出します。(❶ インテリアデコ/ウォールグリーン GR3348、GR3350)

パネルとのバランスを考慮してミニ樹木を置くとよりオシャレです。(❷ 樹木プランター/ボックスプランター GR5016、GR5015)

家具同士やコーナーの隙間

何気ない場所にもグリーンがあると癒される

オフィス家具をレイアウトした後にできた空きスペースや隙間は、
そのままだと中途半端で間が抜けた印象になりがちです。

装飾スタンドで隙間を埋めて心地よさをプラス。

隙間にグリーンを置くことは、居心地のいいグリーン空間を作る上で効果的です。動線の邪魔にならず、間が抜けた印象も解消されるので空間が整います。装飾スタンドは、省スペースに置けるので、隙間を埋めるのに便利なアイテムです。アイアン脚の洗練されたデザインがオシャレさも演出します。(グリーンスタンド/グリーン装飾スタンド GR2521、GR2524)

商品情報は「グリーンモードカタログvol.3」、「vol.3別冊人工樹木カタログ」をご覧ください。

オフィス

コミュニケーションスペース

居心地のいい空間が活発なコミュニケーションを促す

従業員同士のコミュニケーションが活性化されることで、新しいアイデアが生まれたり、
チームの連帯感が上がって業務効率の向上が期待できます。

**グリーンの
パネルパーテーションで
自然な間仕切り。**

リラックスできる環境を作ることが、コミュニケーションの活性化には重要です。パネルタイプのパーテーションは空間を程よく間仕切りでき、グリーンのカーテンでリラックス効果も得られます。適度な透け感が光を通すため、圧迫感なく仕切ることができます。(グリーンスタンド/パネルパーテーション GR2433)

打ち合わせスペース

打ち合わせしやすい環境を作って、業務をスムーズに

個室空間を使う必要のないちょっとした打ち合わせは、業務を効率的に行う上で重要です。執務エリアの近くに、打ち合わせスペースが十分確保されていることがポイントです。

**BOXプランターで
区画の境目を仕切る。**

BOXプランターで仕切りを作れば、デスク横の省スペースに打ち合わせスペースを併設することができます。程よく目隠しになるので、議題に集中できます。アイアン風脚のBOXプランターは、下部が開口しているので圧迫感なく仕切ることができます。(グリーンスタンド/BOXプランター GR2280)

キャビネット

気になる視線を遮り、業務効率アップ

オープンオフィスの仕切りツールとしてよく使われるキャビネット。
高さが低いため周りからの視線までは遮ることができません。

**グリーンポットを置いて
さりげなく目隠し。**

キャビネットの上に卓上ポットを置くことで、癒しを演出しながら、気になる視線を遮ることができます。業務に集中できたり、プライバシーの確保が期待できます。ワイドやスクエアなど異なる形のポットを並べてリズムをつけるのもオシャレでおすすめです。(グリーンポット/卓上ポット GR4318、GR4255)

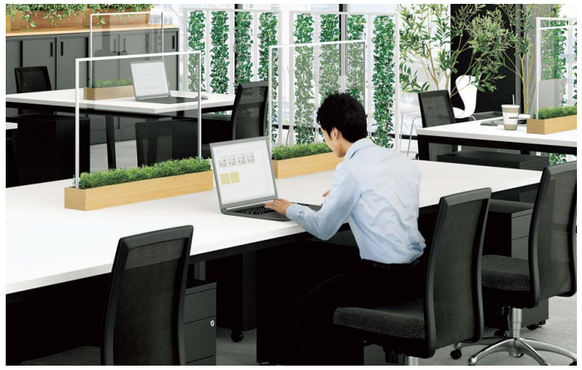
デスク

飛沫を防いで安心して働ける環境に

感染対策の一環として設置が当たり前となっている飛沫防止パネル。長引くコロナ禍により、長期利用の常設アイテムとなっています。

**グリーンの間仕切り
ポットで飛沫防止と
癒し効果。**

グリーン付きの間仕切りポットは飛沫防止だけでなく、近い位置に緑があるので心理的に落ち着けて、安心できます。(グリーンポット/卓上ポット GR4422)



コミュニケーションと集中が両立できる環境が作れます

ワンフロアでたくさんの従業員が仕事するオープンオフィスは、開放感がありコミュニケーションの活性化が期待できます。一方で、プライバシーの確保がしづらかったり、気が散ってしまって集中しにくいなどの問題点があります。
快適なオープンオフィスを作るには、業務内容や目的に合わせて区切りや仕切りを作る必要があります。グリーンのパーテーションは、ストレスの軽減効果はもちろんのこと、「仕切り」「目隠し」「コーナー作り」など、目的に合わせて選べるスタイルが充実しているので、開放感を維持しながら業務に集中できる環境が作れます。

商品情報は「グリーンモードカタログvol.3」、「vol.3別冊人工樹木カタログ」をご覧ください。

オフィス

リフレッシュルーム

自然を感じて質の高いリラックス空間を作る

心身をリフレッシュできる場を作ることが、快適なオフィス環境を作る上で重要です。
社員の満足度が高まり、生産性の向上が期待できます。

土植え風の連接樹木が、テラスにいるような心地よさを演出。

地面から直接生えているようなグリーン演出ができる連接樹木。イスやソファ周りに設置することで、緑を楽しめるテラスのような空間が作れます。設置は床の上に並べて置いていくだけなので簡単です。レイアウトの変更も手軽にできます。(人工樹木/連接樹木 GM5711)

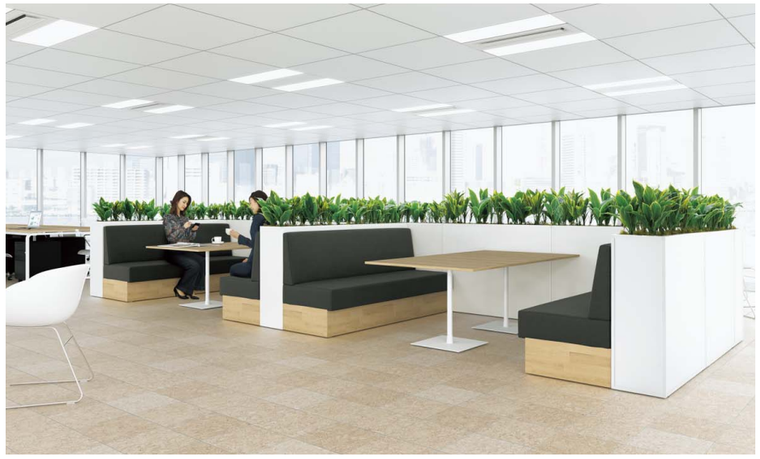
休憩スペース

リラックスできて会話が弾むファミレスブース

ランチ休憩やミーティング、応接スペースなど多目的で使えるファミレスブース。壁で仕切らないオフィス空間では、個室空間の代わりとして導入する企業が増えています。

BOXプランターで囲うと、リラックス効果アップ。

連接向きのBOXプランターでスペースを囲えば、癒しのファミレスブースができます。個室にいる様な安心感に、グリーンの癒し効果が加わり、理想的なスペースが作れます。(グリーンスタンド/BOXプランター GR2284、GR2285、GR2286)



エントランス

目を引き印象に残る演出でイメージアップ

取引先や社員を迎え入れるエントランスは、企業のブランドを向上させ、
思いを形にして発信する場所です。

壁面緑化が爽やかでクリーンな印象を与える。

壁面緑化はインパクトある演出ができると同時に、清々しく爽やかな印象を与えます。社名サインと組み合わせることで、会社イメージの向上が図れます。(❶ グリーンパネル/連接グリーン GR1144、GR1146、GR1148)

ソファ周りに設置された人工樹木が、壁面緑化との相乗効果で、より印象に残る演出ができます。(❷ 人工樹木/連接樹木 GM5710、GM5715)

エントランス

企業の顔として好印象のおもてなし

企業の顔であるエントランスは、会社のイメージを印象付ける重要な場所です。

複数の樹木プランターで、手軽にフォーカルポイント作り。

異なる複数の樹木プランターを1ヵ所にまとめて設置すると、印象の強いグリーン演出になり、手軽に空間の見せ場（フォーカルポイント）が作れます。自然とグリーンに視線が行きやすくなり、空間全体が清潔で爽やかな印象になります。(人工樹木/樹木プランター GR5008、GR5016、GR5009)

商品情報は「グリーンモードカタログvol.3」、「vol.3別冊 人工樹木カタログ」をご覧ください。